



長崎大学医学部
医学科
2024



Nagasaki University
School of Medicine

長崎大学医学部医学科の基本理念

長崎大学医学部医学科の開祖ポンペ・ファン・メールデルフォールトは、長崎において、日本で初めて患者を主体とした医療を実践し、わが国の近代西洋医学教育を創立した。本学科は、ポンペの言葉「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。」を建学の基本理念とし、深い医学知識と豊かな創造性、高い倫理観を身につけた医師及び医学者を育成することを目標としている。この目標を達成するために、医学科では、1) 基礎医学、臨床医学知識の総合的理解（医学を学ぶ）、2) 医科学的創造性の養成（科学を学ぶ）、3) 医師としての社会的責任感と人間性の確立（人間を学ぶ）を重視した教育を実施する。



日本近代医学の源流

CONTENTS

01 学部長挨拶

02 医学部医学科のカリキュラム

04 卒後の進路について

06 入学科・授業料・奨学金制度
先端医育センターのご紹介

07 医学科教育の特色

学部長挨拶



長崎大学医学部長
池松 和哉

長崎大学医学部は、1857年にオランダ国軍医ボンベ・ファン・メールデルフォールトが長崎奉行所西役所医学伝習所において、松本良順やその弟子達に近代西洋医学教育を開始したのをもち開学としています。その後1861年には西洋式の病院である小島養生所が開設され、ベッドサイドでの医学教育が始まっています。不幸にして1945年には原爆により医学部は壊滅的な打撃を受けましたが、多くの先人の献身的努力により、復興を遂げました。

本学はボンベの言葉「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい」を建学の基本理念とし、深い医学知識と豊かな創造性、高い倫理観を身につけた医療人を育成することを目標としています。医学部には医学科と保健学科があり、保健学科には看護学、理学療法学、作業療法学の3つの専攻があり、これまで多くの優秀な医療人を輩出し、医学、医療の発展に貢献してきました。

長崎大学は2020年から「Planetary Health (地球の健康) に貢献する大学」を目指すことを掲げ、医学部でも「人の健康、地球の健康、あなたの未来 RAPID ACTION !」のスローガンのもと、医学研究や診療を行っています。特に近年は教育の改革に努め、グローバルに活躍する人材の育成をも目指しています。医学科ではビュルツブルク、ライデンを始め、UAE、モンタナ、アンジェ、ハーリム等の多くの大学との交流が盛んで、希望すれば学生時の間に海外実習・留学を経験する機会を持てるようにしています。

また、本学は全国的に見ても離島の多い長崎県にある大学として、地域医療を守る機能も果たしています。離島実習や地域包括ケア実習を通して地域医療を担い引っ張っていく人材を育成することも大切な使命であると考えています。研究面では、これまでも世界をリードする研究が行われてきた感染症、放射線医学の分野に加え、医学部・歯学部・薬学部という生命医科学系の学部が揃っている本学の特徴を活かし、研究を行なっています。長崎の地域医療に貢献したい、長崎から世界に貢献したい、というやる気に満ちあふれる学生と出会い、一緒に学んでいけることを大変楽しみにしています。



写真資料／小島養生所(長崎大学附属図書館所蔵)

がここに

09 留学経験者からのメッセージ

10 関連施設紹介

12 長崎大学病院は、あなたの夢を応援します!

13 在学生、卒業生からのメッセージ

14 サークル活動

16 Campus Map／アクセス

医学部医学科の カリキュラム

医学科の 特色あるカリキュラム

【医学科カリキュラムの重点項目】

- ① 医科学領域における高い倫理観を身につけるための科目（医と社会）を1年次より4年次まで開講する。
- ② 医学領域における国際的な人材を育成するために医学英語を1年次より4年次まで開講する。
- ③ 医科学領域における創造的能力・理論的思考力を修得するために3・4年次のリサーチセミナーにおいて基礎配属を行う。

多様なカリキュラム

【研究医枠】

基礎医学研究等に興味があり、医学の発展に携わるという目標とそれを貫く強い意志を有する人を求める。入学後は、以下の4つのプログラムのいずれか1つに所属し、医学研究に必要な基礎知識の習得や研究内容の発展を行い、将来の研究医に必要な基礎を築き、卒業後、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学する。

- ① 研究医プログラム
（基礎医学研究に貢献する者）
- ② 熱帯医学プログラム
（熱帯医学の基礎研究に貢献する者）
- ③ 国際保健プログラム
（国際保健医療、放射線健康科学分野に貢献する者）
- ④ 法医学プログラム
（法医学研究に貢献する者）

【地域枠】

地域医療ゼミにより地域医療に関する理解を深め、将来長崎県の地域医療に貢献する臨床医を育成する。

教育目標

1年次

医学の基礎と医学における倫理の重要性を学ぶ。

医と社会Ⅰ

【入門科目】

医科生物学入門

【正常構造と機能】

人体構造系Ⅰ

生体分子系

発生・組織系

内臓機能・体液系Ⅰ

2年次

医学基礎と共に疾患について学ぶ。

医と社会Ⅱ

【入門科目】

Communication Skill in English

医学史・原爆医学と長崎

医学統計学

【正常構造と機能】

神経・感覚器系

人体構造系Ⅱ

動物性機能系

内臓機能・体液系Ⅱ

分子遺伝系

【疾患総論】

感染系

免疫系

病理総論系

腫瘍系

放射線基礎医学

基礎医学TBL

薬理系

【疾患各論】

血液・リンパ系

循環器系

感染症系

医学英語

医学ゼミ

教養教育

地域医療ゼミ ※地域枠

研究室配属実習Ⅰ
※研究医枠

研究室配属実習Ⅰ
※研究医、法医

熱帯医学ゼミ
※熱研

研究室配
※研究医、

国際医療ゼミ ※国際枠

3年次

疾患について学ぶと共に基礎研究について実習を行う。

医と社会Ⅲ

【疾患各論】

呼吸器系

内分泌・代謝・栄養系

消化器系

運動系

腎泌尿器系

生殖系

精神系

免疫・アレルギー系

脳・神経系

皮膚系

視覚系

耳鼻咽喉口腔系

【診療の基本】

放射線医学

【基礎研究実習】

リサーチセミナー

4年次

疾患と共に診療の基本について学ぶ。

医と社会Ⅳ

【正常構造と機能】

人体構造系Ⅲ

【疾患各論】

小児系

【医学・医療と社会】

法医学系

衛生学・臨床疫学

公衆衛生学

地域医療・医療情報学

【診療の基本】

臨床検査医学

外科治療学

救急医学

総合診療学

臨床薬理学

東洋医学

総合病理学

リハビリテーション医学

診断学

臨床推論PBL

【臨床実習】

臨床実習

5年次

疾患と診療の知識をふまえて臨床実習を行う。

【臨床実習】

臨床実習

高次臨床実習Ⅰ



6年次

疾患と診療の知識をふまえ高次の臨床実習を行う。

【臨床実習】

高次臨床実習Ⅱ

卒業試験

属実習Ⅰ
熱研、法医

国際医療英語 ※国際枠

研究室配属実習Ⅰ
※研究医、法医

グローバルヘルス特論
※熱研、国際

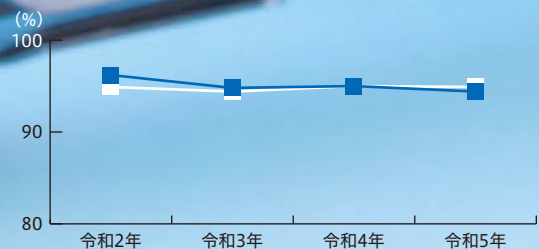
研究室配属実習Ⅱ
※研究医枠

高次臨床実習の一部において
「研究室配属」等
※研究医枠

卒業後の進路について

医師国家試験年別合格率

	長崎大学新卒者合格率	全国平均合格率
令和2年（114回）	96.2	94.9
令和3年（115回）	94.8	94.4
令和4年（116回）	95.0	95.0
令和5年（117回）	94.4	94.9



入学から卒業、大学院進学まで

※ 研修・大学院進学の詳細は入学者選抜要項、学生募集要項等参照。



卒業後の進路

卒業生の多くは臨床医になります。義務である2年間の初期臨床研修、次いで専門医研修を経て一人前の医師になるトレーニングを積みます。その他、基礎研究医（大学や研究所）、行政職に進む人もいます。長崎大学医学部医学科から政治家も輩出しています。



各入試枠の説明

一般枠 (一般選抜)

医学・医療分野に対して熱意と高い意志を持ち、この分野の職業に生涯にわたり従事するという明確な目的意識がある人を求めます。

長崎医療枠 (学校推薦型選抜ⅡA)

地域医療に興味があり、将来長崎県の地域医療を支えていくという強い意志を持つ人を求めます。長崎県医学修学資金の貸与を受けない長崎医療枠（学校推薦型選抜ⅡA）と受ける地域医療特別枠（学校推薦型選抜ⅡB）からなります。

地域医療特別枠 (学校推薦型選抜ⅡB)

1～3年次に長崎県の医療についての理解を深め、離島・へき地医療に重要なプライマリケア・小児科・産婦人科・救急医療などに関する広い知識を習得する「地域医療ゼミ・医学ゼミ」を受講します。

佐賀県・宮崎県枠 (学校推薦型選抜ⅡC)

卒業後、長崎医療枠では長崎大学病院群で2年間の初期臨床研修及び3年間医療業務に従事すること、地域医療特別枠（学校推薦型選抜ⅡB）では長崎県が指定する医療機関で9年間研修・医療業務に従事することが条件となります。

また、佐賀県・宮崎県枠（学校推薦型選抜ⅡC）では、佐賀県又は宮崎県が指定する医療機関に従事することが条件となります。

研究医枠 (学校推薦型選抜ⅡD)

基礎医学研究等に興味があり、医学の発展に携わるという目標とそれを貫く強い意志を有する人を求めます。

入学後は、以下の4つのプログラムのいずれか1つに所属し、医学研究に必要な基礎知識の習得や研究内容の発展を行い、将来の研究医に必要な基礎を築きます。

- ①研究医プログラム（基礎医学研究に貢献する者）
- ②熱帯医学プログラム（熱帯医学の基礎研究に貢献する者）
- ③国際保健プログラム（国際保健医療、放射線健康科学分野に貢献する者）
- ④法医学プログラム（法医学研究に貢献する者）

卒業後、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学することが条件となります。初期臨床研修後の大学院進学も可能です。

入学料・授業料・奨学金制度

■ 入学料 …………… 282,000円

■ 授業料(年額) …………… 535,800円

※1 入学料については、免除(全額又は半額)及び徴収猶予の制度があります。

※2 授業料については、免除(全額又は半額)の制度があります。

※3 入学料及び授業料は改定される可能性があります。

奨学金制度

1 日本学生支援機構の奨学金

	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(有利子)
自宅通学	45,000円/30,000円/20,000円 いずれかを選択	20,000円～120,000円 (10,000円刻み)
自宅外通学	51,000円/40,000円/30,000円/20,000円 いずれかを選択	

3 各種奨学金

地方自治体、民間企業及びその他団体等が設けている奨学金制度があります。

2 長崎県医学修学資金貸与制度

(1) 貸与金額 令和4年度入学者：6年間の貸与総額(予定) 9,336,800円

	入学料	授業料	図書費	生活費	年間貸与学
1年次	282,000円	535,800円	—	840,000円(※1)	1,657,800円
2年次	—	535,800円	—	840,000円(※1)	1,375,800円
3～6年次	—	535,800円	200,000円	840,000円(※1)	1,575,800円

(※1) 70,000円×12月

(2) 貸与利率 年14.5%

(3) 返還免除 卒業後、「履行すべき義務」を終えた場合に元金及び利息の返還が免除されます。

(4) 履行すべき義務 貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間(うち、離島・へき地に2分の1以上の期間)、知事が指定する医療機関等への勤務が必要です。

諸納付金等(入学年度)

種 別	金 額	備 考
学生教育研究災害障害保険	4,800円	6年間分
学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)	2,000円	4年間分
学研災付帯学生生活総合保険(付帯学総)	約60,000円	3年間分
医学部教育後援会費	60,000円	6年間分
医学部学生会費	15,000円	6年間分
長崎医学同窓会入会金	25,000円	6年間分
合 計	約166,800円	

その他の納付金等

各種予防接種費 …………… 約10,000円
 医学英語 e-ラーニング受講費 …………… 約80,000円
 共用試験受験料 …………… 45,000円(令和5年度)
 医師国家試験受験手数料 …………… 15,300円(令和4年度)
 6年次国家試験対策(模試・参考書等) …… 約100,000円

長崎大学医学部医学科 先端医育センターのご紹介



平成18年に開設された長崎大学医学部医学科先端医育センターは、他の教室のように学生さんに医学を教えるのではなく、医学科の学生さんたちに対する支援や教育そのものに対する支援を専門に行う部署です。希望に満ちあふれて入学してくる皆さんも、本当に医学科を選んでよかったのか、どう医学の学習を進めればよいのかなど、学修、クラブ活動、プライベート、進路などで様々な悩みや不安、ストレスを抱えるときがあるでしょう。そんなときに学生さんに寄り添って解決策と一緒に考えたり、きめ細かくアドバイスしたり、あるいは皆さんのニーズや要望を教育改善に繋げる橋渡しを行います。また、障がいや特性をもつ学生さんへの合理的配慮を含めた支援にも力を入れています。教育支援としては、カリキュラムの改善や共用試験とよばれる全国共通試験や卒業試験の運営・実施、教員向けセミナーなど、多岐に渡る支援を行っています。

悩みや不安、ストレスを抱える学生さんたちだけでなく、すべての医学科の学生さんたちに気軽に当センターを訪ねてもらい共に歩むことで、学生さんたちの成長のお手伝いをしたいと思います。皆さんと医学科のキャンパスで会えることを、楽しみにしています。

医学科教育の特色

通常の基礎～臨床の講義に加えて、当医学科では以下のようなユニークな講義を行っています。

特色

01

リサーチセミナー

将来臨床医となり、日々患者さんを診察し治療する中においても、科学的、論理的な考え方、批判的なものの見方を身につけることは極めて重要です。医学の歴史を振り返ると、そのような医師達が新しい疾患概念を組み立て、未知の疾患の病因を解明し、新たな治療法を開発してきました。そこで、長崎大学医学部医学科の学生は、3年次に2ヶ月間希望する研究室に配属され、毎日朝から夕方まで研究を体験するリサーチセミナーというプログラムがあります。教員からマンツーマンの指導を受け、論文を読み、情報を集め、問題に対する仮説を立て、綿密な実験計画を立てて実験を行いその仮説を検証します。希望者には海外の研究室でリサーチセミナーを行う機会も用意されています。また、プレゼンテーション能力を養うために2日間かけて研究成果発表会を行います。さらにリサーチセミナー終了後もその研究室に通い、学会で発表したり英語で論文を書く学生もいます。



特色

02

地域基盤型医学教育



長崎大学は全国に先駆け地域で学ぶ医学教育に取り組んできました。今では長崎県内全域の地域中核病院を教育拠点として診療所や保健施設でも学ぶことができる地域基盤型教育を実践しています。その学びは1年から6年まで一貫しており、1年次に五島や平戸地区での早期体験実習を経験でき、2年次は高齢者施設、3年次は長崎市内の診療所の見学実習、そして4・5年次では上五島、下五島、対馬、壱岐のいずれかに1週間滞在して「離島医療・保健実習」を行います。さらに、5・6年次に、県内全域にある拠点病院のなかで地域密着型の臨床実習を4週間行うこともできます。また特色として、事例学習や実習現場で保健学科や歯学部・薬学部などの医療系学科、そして福祉系大学とともに学ぶ機会をととして多職種連携の素養を身につけ医師として地域で活躍できる力を養います。



医師は、臨床でも研究でも、日進月歩と呼ばれ進歩が著しい世界の情報をいち早く入手し、また情報を世界に発信する能力が極めて重要になっています。一方、自動翻訳などの便利なシステムもどんどん発達していますが、それでも、人と人の接する世界である医学においては英語力は必要とされます。医学の専門用語は日本語でも難しく同様に英語でも難しい単語がたくさんあります。長崎大学医学部医学科では医学専門用語の英単語力（語彙力）を高め、論文読解力を学生時代にある程度のレベルに到達するために医学英語e-ラーニングシステムを導入しています。自分のペースで難しい医学英語をシステムティックに学んでいくことができます。授業では、学んだ語彙を使って表現し議論するトレーニングを行います。将来、海外で医療に携わったり、外国人医師に先端医療技術を教えたり、欧米への本格的な留学をして研究したりと英語のできる医師には活躍の場に制限はありません。また日本を代表して国際学会などでも英語で発表し議論できる医師や研究者をめざして欲しいと考えています。

医学科では、グローバルなセンスを身に付けた医療人育成を目的として、海外の大学で基礎医学研究及び臨床医学研修に従事できるプログラムを提供しています。母国を離れて外国で医学を学ぶ経験は大変貴重なものであり、必ずや人間形成にも役立つものです。開学の祖、ポンペウカリのライデン大学（オランダ）やシーボルトの出身校であるビュツブルク大学（ドイツ）、多職種連携で先端的な地域医療を実践しているモンタナ大学（アメリカ）、そして、ハーリム大学校（韓国）等が現在の派遣先となっています。海外基礎研究に関しては3年次に開講されるリサーチセミナー時に、海外臨床研修は6年次前期の高次臨床実習時に希望する海外大学で実施されることになっています。また他にも多数の大学・機関と学術交流協定等を結んでおり、希望があれば適宜交流可能となっています。



》長崎大学医学部・熱帯医学研究所の海外拠点と主な海外協定校

ー世界とつながる長崎大学医学部医学科ー



留学経験者からのメッセージ

古川 明世

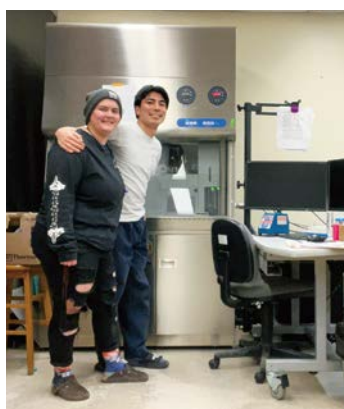
FURUKAWA Akiyo

令和2年度入学

留学先 アメリカ/モンタナ大学
留学期間 2023年1月~2023年3月
留学目的 リサーチセミナー
現在の所属 長崎大学医学部医学科4年



モンタナ大学でのリサーチセミナー



こんにちは。私は3年生の冬の2ヶ月間にリサーチセミナーのプログラムを利用してアメリカのモンタナ大学に留学させていただきました。初めての研究かつ英語でのコミュニケーションで一度で理解できないことが多々ありましたが聞き返したり、図を用いて説明してもらったりすることでなんとか食いつくことができました。優しく丁寧に接して下さった研究室の先生方には本当に感謝しています。そのおかげで最終的には細胞培養やフローサイトメトリーなどの一連のプロトコルを1人で行えるようになりました。また、今回は大学内の寮に下宿したため平日は研究室を出ると、食堂やジム、ゲームセンターなど大学内の施設で現地の他学部の学生と交流することができました。休日にはスキーや温泉、現地の医学生と食事に行ったりとモンタナを満喫しました。留学の2ヶ月を通して素晴らしい先生方や友人とたくさん出会い、人として大きく成長できました。皆さんもぜひトライしてみてください！

ライデン大学での高次臨床実習



オランダは心電図発祥の地として知られていますが、私が留学先として選んだオランダのライデン大学も循環器領域が有名で、日本を含む各国からフェローの先生たちが留学に来ていました。院内ではその国際色豊かなメンバーが集まって英語でディスカッションを行っていることがあり、大変刺激的で学生ながら最高の環境に身を置くことのありがたさを痛感しました。実習では主にカテーテル治療の見学をしていましたが、長崎大学病院でのポリクリでは見る機会がなかった多種多様な疾患とその治療を知り、循環器内科で行うカテーテル治療の大部分が見られたのではないかと思います。一方で海外における医療の現場を目の当たりにしたことで日本の医療に対する見方が変わり、3ヶ月間のこの経験を通じ今後の自身の医師人生における指針を得ることができました。医師になった今改めて、学生時代に海外における医療の実態を見ることができたのは非常に貴重な経験だったと実感しています。

野口 智聡

NOGUCHI Chisato

令和4年度卒業

留学先 オランダ/ライデン大学
留学期間 2022年4月~2022年6月
留学目的 高次臨床実習
現在の所属 長崎大学病院／医療教育開発センター(研修医)



関連施設紹介

01 大学院医歯薬学総合研究科

医学は近年急速に進歩しましたが、病気の原因や治療法が明らかになった疾患はまだ一部に過ぎません。人間の体の仕組みや病気については今でも未解明のことの方が多く、これらの問題を解決し医学の進歩を支える医学研究が欠かせません。医学部医学科卒業生の多くは、医学研究者や高度専門医療人の道を目指して、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に進学します。本大学院は、医学、歯学、薬学、保健学の4分野を統合した4年制（医学系の場合）医療系総合大学院で、医学科卒業生は医療科学、新興感染症病態制御学系、放射線医療科学及び先進予防医学共同の専攻に進学します。大学院在学中は、柔軟なカリキュラムのもとで各人の目指す研究に没頭し、医学研究のトレーニングを積むと共に研究者としての第一歩を踏み出します。修了後は博士（医学）の称号を得て、一人前の研究者として世界で活躍する医療人を目指します。高度な研究能力と教育能力を備えた大学人の後継者育成も大学院の重要な使命です。本大学院は、世界で活躍する優れた医学研究者、高度専門医療人を多く輩出しています。なお、研究医卒の学生は、本大学院への進学が必須です。



02 原爆後障害医療研究所



長崎大学原爆後障害医療研究所（以下、原研）は、原爆被爆者の慢性障害（後障害）の治療や発症予防・放射線の人体への影響に関する医学部附属基礎研究施設として昭和37年に設置されました。以後、被爆者の治療・研究のみでなく、チェルノブイリ原発事故後や旧ソ連の核実験場であったカザフスタン共和国セミパラチンスク周辺での放射線障害の研究を各種国際機関と共に行ってきました。さらに福島原発事故後には、放射線健康リスク制御で中心的な役割を果たしています。原研は平成24年に設立50周年を迎えたのを契機に、平成25年には大学附置研究所へ改組しました。平成28年からは福島県立医科大学と「災害・被ばく医療科学共同専攻大学院」を設置し、高度な教育研究を展開しています。「国内外の大学・研究機関との連携の下、放射線健康リスク管理学を中心とした被ばく医療学を推進し、人類の安全・安心を担う専門家を輩出する」をミッションに、今後も被爆地長崎が被ばく医療の世界的拠点となるべく医療・医学研究を展開していきます。

◀ 原爆医学資料展示室（長崎大学医学ミュージアム内）

03 熱帯医学研究所

人類は古くから感染症の脅威にさらされてきました。医学ならびに医療技術の発達した現代でも、エイズやマラリアなどいまだに克服されていない感染症は多く、新たなウイルスも日々出現しています。また地球温暖化や交通網の拡大・高速化などにより特定の地域で起きた感染症があっという間に世界中に広がります。長崎大学熱帯医学研究所（以下、熱研）は、熱帯地域を中心に蔓延する感染症の問題に向き合い、薬やワクチンの開発はもとより、環境や貧困問題などの原因を根本から考えて統合的な戦略を打ち出し、人々が助け合いながら感染症を克服する社会の実現を目指しています。2006年からはベトナムとケニアにて長崎大学アジア・アフリカ海外感染症研究拠点を運営し、感染症が発生流行する現場での臨床疫学研究と将来の研究を担う優秀な人材の育成に取り組んでいます。そこでは常駐の研究員と現地の研究者が協力して日夜研究を繰り返しています。熱帯医学に興味のある学生さんは気軽に熱研を訪ねてください。



04 高度感染症研究センター



出血熱などの致死率が高い感染症を起こす病原体を安全に取り扱い、有効な予防・治療法を開発するためには、高度な安全機能を備えた実験施設(BSL-4施設)が必要です。長崎大学高度感染症研究センターは、BSL-4施設を用いた感染症研究を推進することにより、人類に貢献することを目的としています。また、高度な感染症研究やバイオリスク管理を担う人材を育成することに努めます。

本センターは、2017年に設置された感染症共同研究拠点を前身としており、2022年4月から名称を新たにしました。また、全国の関連研究者の共同利用・共同研究拠点「新興感染症制御研究拠点」として文部科学省に認定されました。

諸外国のBSL-4施設を有する研究機関との連携を進めるとともに、全国の関連研究者のBSL-4施設を用いた研究活動も支援します。

長崎大学病院は、あなたの夢を応援します！

あなたはどんな医師になりたいですか！？

長崎大学医学部医学科に来てください。病院の医師や医療者たちもみんなあなたを待っています。

病院や患者さんに触れて、いろいろな形の医療を体験してほしいと思っています。

卒業後は、最初に、2年間の臨床研修が待っています。そのため長崎大学では、医学部の実習からしっかりと診断・治療の準備ができるように、指導者のサポートのもと、積極的に診療に参加してもらい、安心して臨床研修に入ることができるように意識して教育しています。臨床研修のあとは、多くの人は専門研修に入って、自分がやりたい専門分野に従事していくことになります。この点も、私たちがサポート体制をとっていますので、医学部－臨床研修－専門教育とスムーズに進んでいけるようにしています。

長崎大学病院で研修を終えた先輩方は、医学研究者、最先端の医療を行うスペシャリスト、地域医療を支える開業医、勤務医、国際医療協力などそれぞれの目標に合った道を進んでいます。医系技官、保健所、行政の道に進む人もいたり、本当に様々な場所で活躍しています。

ぜひ、長崎大学にきて、大学病院の指導者たちとも話をしにきてください。

あなたの将来の夢を語り合いましょう！待っています！



先進医療

スペシャリスト

研究者

さまざまな最先端研究を行っています。



開業

長崎県内外で多くの医師が地域医療に貢献しています。

行政

厚生労働省の医系技官、県の保健所などで活躍しています。

専門医研修
3～5年間

初期臨床研修
2年間



全国からたくさんの研修医が集まっています。



理想の医師像を仲間と
追い求める充実した毎日

浦野 あおい

URANO Aoi

医学部医学科 4年



私は、長崎の地域医療に貢献する医師を目指して長崎大学医学部に入学しました。特定の臓器や疾患に限定せず、幅広い健康問題に対応する力が必要だという思いから、総合診療ぶらいまりけあサークル『そぶら』を立ち上げ、総合診療のマインドを学んでいます。

また、3年生の1月から3月、私はドイツのビュルツブルク大学に留学し、精神医学の分野で研究を行う予定です。長崎大学医学部は海外の大学とのつながりが深く、リサーチセミナーや実習などで、学業を中断することなく、海外で経験を積むことができます。私自身高校生のとき、医学科のパンフレットを見て夢を膨らませていました。ひとりでドイツに渡り、コミュニケーションをとることは、かけがえのない経験になると確信しています。

日々の講義はもちろん、サークルや部活動、海外リサーチセミナー、アルバイトなど、大学生生活は高校生の私には想像もつかないくらい充実しています。長崎大学医学部は、自分が興味をもったことに挑戦できる機会と一緒に頑張って頑張る仲間恵まれていると感じます。どのような医師になりたいのか、長崎大学で様々な経験を積んで、ともに考えを深めていきましょう。

感染症研究の世界
長崎大学での学びと将来の展望

川上 真弘

KAWAKAMI Masahiro

医学部医学科
令和3年度卒

長崎大学は熱帯医学研究所やBSL-4施設をはじめとした感染症研究拠点を構え、感染症分野において臨床、基礎、公衆衛生の第一線の先生方と密に関わる全国随一の環境です。

私は熱帯医学研究医専で入学し、特別に用意されたカリキュラムの一環として同じ枠の同級生と共に入学直後から医学部内の主要な研究室をローテートし、2年次から基礎系の研究室に配属されました。そこでマラリアに関して3年秋まで研究させていただいた後、別の研究室でダニ媒介性ウイルスであるSETSVに関して現在まで研究を続けています。論文まで何とか仕上げたいと考えています。6年通して、「研究」について深く学ぶことができ、入学前は憧れだった研究医像も確かなイメージを持てるようになりました。今後は経験を積んで、感染症に関係する分野の研究に一層深く携わりたいと考えています。

大学生活では様々なイベントがありますが、長崎大学は自由度も高く、自分のやる気次第でチャンスを与えてくれる先生方が大勢おられます。長崎では理想とする医師像・研究者像に必ず近づけるでしょう。皆さんの入学を心よりお待ちしております。

地域医療と現場での
実践的な学び

松島 俊樹

MATSUSHIMA Toshiki

医学部医学科
令和元年度卒

長崎大学医学部医学科の入試には、長崎県内の離島や地域医療に特化した長崎医療枠・地域医療特別枠や、入学後に熱帯医学・国際保健・法医学からプログラムを選んで専門的に学ぶ研究医専といった特徴的な推薦入試制度があります。

私の入学した地域医療枠では、他の学生と同様に学ぶの多くの座学に加え、地域医療枠ならではのイベントもたくさんあるので、楽しく学ぶことができました。特に長崎県内の離島やへき地を訪ねる機会が多く、地元の方々と交流を深めることで、どのような医療が求められ、どれほど現地包括ケアでの連携が重要かなど、地域医療の最前線に身を置いて、現場スタッフの目線ととりくむ実習はとても実践的でした。

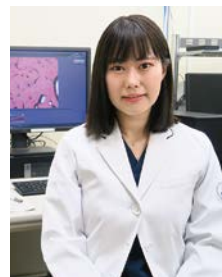
また、現地での活動中は、学年の境もなく、縦のつながりは強まり、活動を終えるまでに、同じ志をもった仲間を作ることができます。

私は令和2年3月に医学科を卒業したばかりですが、活動中にできた仲間たちと一緒に長崎医療センターで日々精進しています。皆さんが長崎大学医学部医学科に入学し、楽しい学生生活を送られることを祈っています。

人体構造を追求する
研究医への道
充実した学生生活を

濱本 文美

HAMAMOTO Ayami

医学部医学科
平成29年度卒

私は一般研究医専で入学し、1年次の後期より骨学実習等を通して人体構造系に興味を持ち、肉眼解剖学教室で骨粗鬆症のメカニズムについての研究を始めました。研究室の先生やスタッフの方に標本の作製や統計の取り方などから教えて頂き、授業とはまた違うアカデミックな側面から学ぶことができました。4年次からは研究医コースへ進学、卒業後の現在は市中病院で研修医として働きながら、社会人大学院生として続けてきた研究内容での博士号取得を目指しています。臨床実習を通して外科系の手技に惹かれ、今後は耳鼻咽喉科・頭頸部外科医としての第一歩を踏み出そうとしております。

私は高校まで他県におり、入学を機に長崎にまいりました。九州地方に踏み入れたこともなく初めての一人暮らしでしたが、振り返ってみれば硬式テニス部・室内合奏団の仲間と囲まれ、充実した学生生活でした。チャレンジ精神があればどんどん道が開ける、環境の整ったこの大学で、皆さんにもぜひ学んでもらいたいと思います。

Club Activities

サークル活動

仲間と絆を深め、
目標に向かって
挑戦する。

体育系サークル

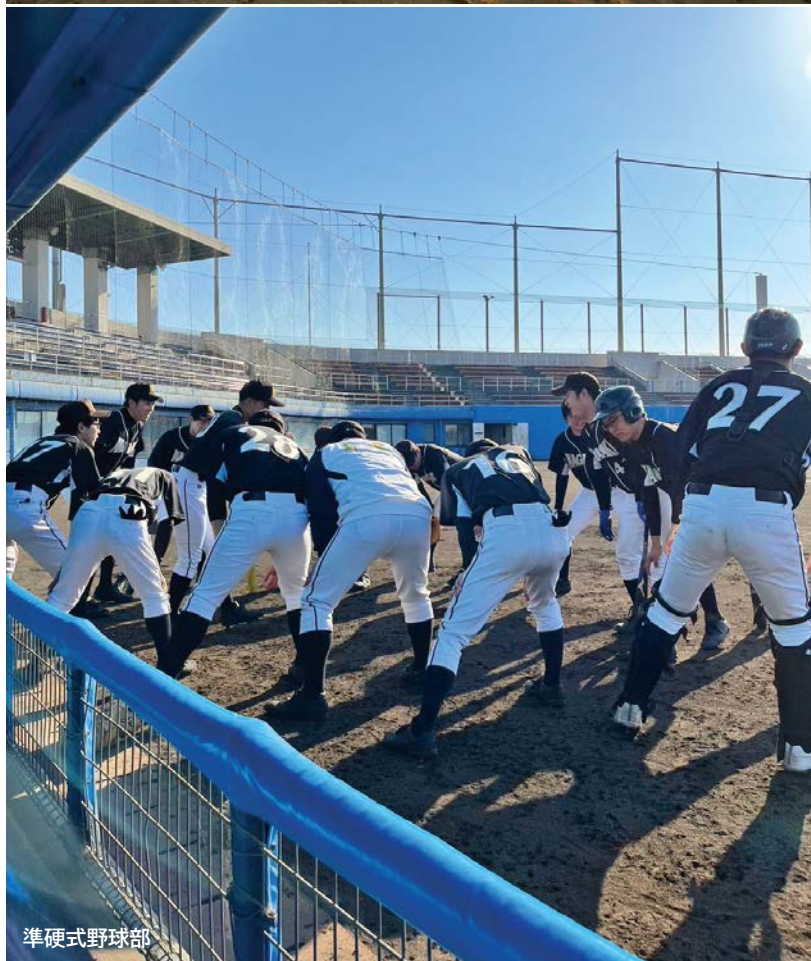
陸上競技部
サッカー部
フットサル部
テニス部（硬式）
ソフトテニス部
水泳部
漕艇部
ウインドサーフィン部
男子バレーボール部
女子バレーボール部
バスケットボール部
卓球部
準硬式野球部
バドミントン部
柔道部
剣道部
弓道部
ラグビー部
マッスル部
ダンス部

文化系サークル

軽音楽部
室内合奏団
茶道部
美術部
園芸部
FLAN
東洋医学研究会
長崎多職種連携・たまごの会
熱帯医学研究会
総合診療ぶらいまりけあサークル



ウインドサーフィン部



準硬式野球部



漕艇部



陸上競技部



女子バレーボール部



ラグビー部



サッカー部



バスケットボール部



ダンス部



フットサル部



バドミントン部



軽音楽部



テニス部（硬式）



柔道部



室内合奏団



水泳部



剣道部



茶道部



男子バレーボール部



弓道部



総合診療がらいまりけあサークル

Campus Map

坂本キャンパス1



1 医学部医学科、大学院医歯薬学総合研究科(基礎棟) P10へ



2 熱帯医学研究所 P11へ



3 原爆後障害医療研究所 P10へ



4 良順会館



Access

アクセス



5 ポンペ会館



6 高度感染症研究センター P11へ



7 記念講堂



8 附属図書館医学分館



9 福利厚生棟 (生協食堂)





原爆復興50周年記念碑



医学部医学科についてのお問い合わせは

長崎大学医学部医学科 学務課

〒852-8523 長崎市坂本1-12-4

TEL.095-819-7010

<https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/>



2023年6月発行